

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者様の入れ替わりや、介護度の変化があるほか、職員の入れ替わりもあるため、支援の習熟度にも差がでている。</li> <li>理念は2年前に作成したものであるが、めざす介護について統一していく必要性を感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の一人ひとりがグループホームという生活の場の意味を理解し、利用者が生き生きと生活できるような支援を行う。</li> <li>利用者に合わせて理念の見直しを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践者研修を受講したスタッフを中心とし、ミーティング等で学んだことを共有できるよう職員で話し合い、実践していく。</li> <li>理念について具体的に会議等で話し合い、現状にあったものを作成する。</li> </ul>	3ヶ月
2	2	町内会へは参加しているものの、相互の行き来があまりなく、交流会を開催しても、独居や高齢のため、ホームへの訪問等が少ない。また、火災などの災害時の支援について運営推進会議で話し合っているが課題が多く、進展は見込めていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域との交流が図れるよう、ホームの持っている力(知識等)を発揮し、認知症についての研修を開催するなどして、ホームに足を運んでいただく。</li> <li>また、地域の方から災害時の協力が得られるようにするため、ひとりでも多くの方にホームの存在や、利用者について理解してもらえるよう働きかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議でホームについて話し合っているが、そのほかに町内会の総会等でも、多くの会員にホームの存在を知って頂けるよう働きかけ、また、地域住民と相互に意見交換ができる関係づくりをしていく。会報の発行の回数を増やしたり、地域の方への認知症サポーター養成講座を開催し、認知度を高めていく。</li> </ul>	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。